



永続する
使命。

2022年3月期

決算説明会資料

2022年5月25日

INDEX

1 2022年3月期決算概要

連結経営成績	3
セグメント別業績	4
セグメント別業績 増減要因	5
物流事業の概況	6
不動産事業の概況	7
貸借対照表とキャッシュ・フローの状況（連結）	8

2 2023年3月期業績予想

連結業績予想	10
セグメント別業績予想	11
セグメント別業績 増減予想	12
株主還元	13

3 中期経営計画の進捗

ビジョンと中期経営計画	15
セグメント別営業利益の推移	16
中計期間におけるキャッシュ・フロー	17
国内物流ネットワークの拡充	18
DX推進・機械化・自動化	19
海外事業の拡大	20
サステナビリティ推進の取組み（KGIとKPI）	21
サステナビリティ推進の取組み	22

APPENDIX

会社概要	25
創業者 渋沢栄一の精神	26
コーポレートスローガン	27
売上高の推移	28
事業セグメント/物流事業	29
事業セグメント/不動産事業	32
グループ拠点	33

1

2022年3月期決算概要



連結経営成績

- 倉庫・港湾運送・陸上運送・国際輸送の各業務で取扱増加
- 中国の現地法人を連結対象
- 営業外収益（持分法による投資利益）を計上

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	前期比	
			金額	比率
営業収益	65,328	71,746	6,417	+ 9.8%
営業利益	3,627	4,516	889	+ 24.5%
営業利益率	5.6%	6.3%	—	+ 0.7P
経常利益	3,929	6,924	2,995	+ 76.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,750	5,257	2,507	+ 91.1%

セグメント別業績

物流 事業

営業収益は前期比65億2千1百万円(11.0%)増の660億5千6百万円
営業利益は前期比8億5百万円(31.9%)増の33億3千万円

不動産 事業

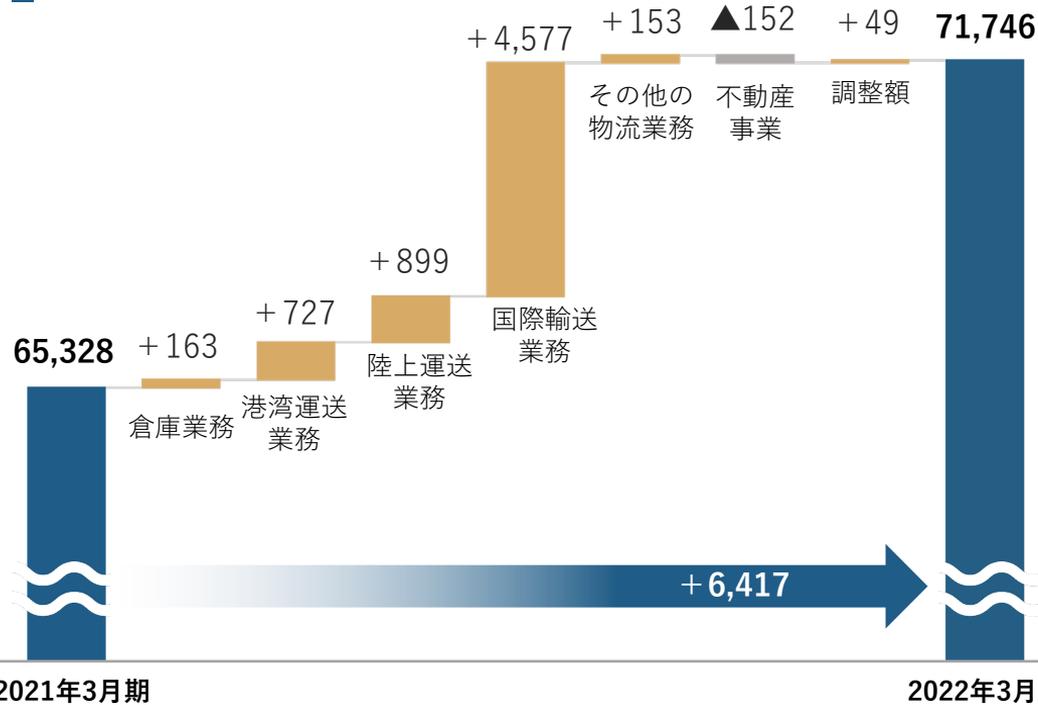
営業収益は前期比1億5千2百万円(2.5%)減の58億3千8百万円
営業利益は前期比4千5百万円(1.5%)増の30億2千6百万円

単位：百万円	営業収益（連結）				営業利益（連結）			
	2021年 3月期	2022年 3月期	前期比		2021年 3月期	2022年 3月期	前期比	
			金額	比率			金額	比率
物流事業	59,535	66,056	6,521	+11.0%	2,525	3,330	805	+31.9%
不動産事業	5,991	5,838	▲152	▲2.5%	2,981	3,026	45	+1.5%
調整額	▲197	▲148	49	—	▲1,880	▲1,841	38	—
合計	65,328	71,746	6,417	+9.8%	3,627	4,516	889	+24.5%

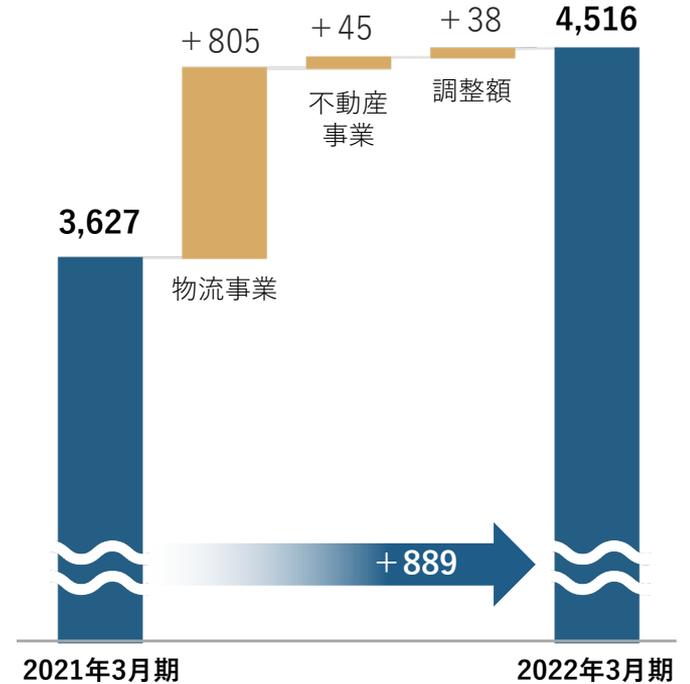
セグメント別業績 増減要因

(単位：百万円)

営業収益増減

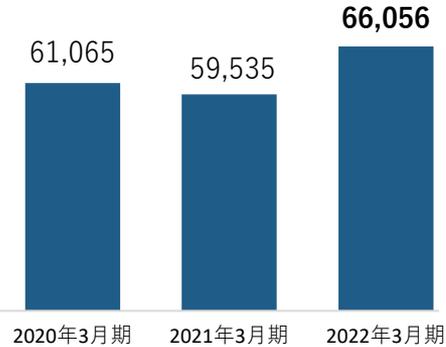


営業利益増減

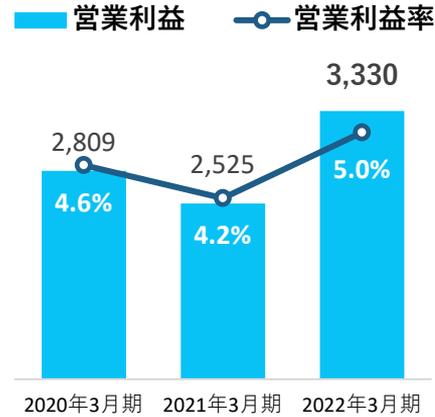


物流事業の概況

営業収益



(百万円)



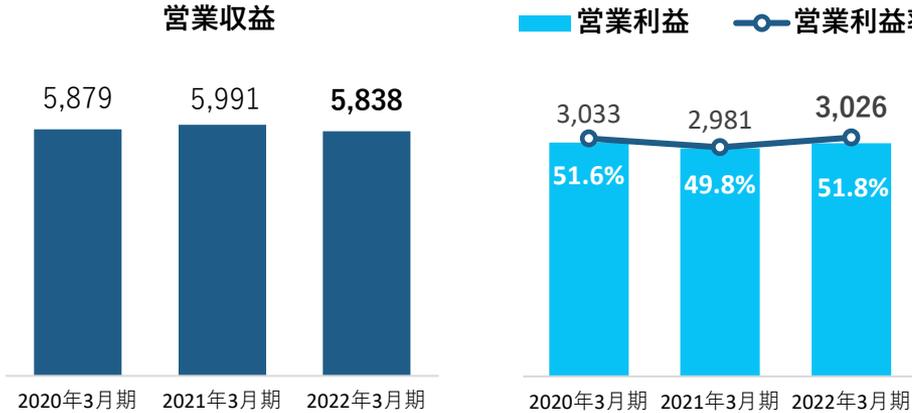
- 倉庫業務：飲料や新規に取扱いを開始した輸入雑貨等の入出庫、流通加工業務が好調に推移
- 港湾運送業務：船内荷役業務や自動車部品関連等の荷捌業務の取扱いが増加したほか、輸出沿岸荷役業務が好調に推移
- 陸上運送業務：飲料や非鉄金属製品等の輸配送業務に加えて、引越業務やフェリー輸送業務が増加
- 国際輸送業務：輸出入航空貨物、輸出入海上貨物、香港やベトナムの海外現地法人の取扱いが増加、中国の現地法人を連結対象、海上・航空運賃単価が上昇

営業収益の業務別実績

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	前期比	
			金額	比率
倉庫業務	15,675	15,838	163	+1.0%
港湾運送業務	5,954	6,681	727	+12.2%
陸上運送業務	30,682	31,582	899	+2.9%
国際輸送業務	5,065	9,643	4,577	+90.4%
その他の物流業務	2,157	2,311	153	+7.1%

不動産事業の概況

(百万円)

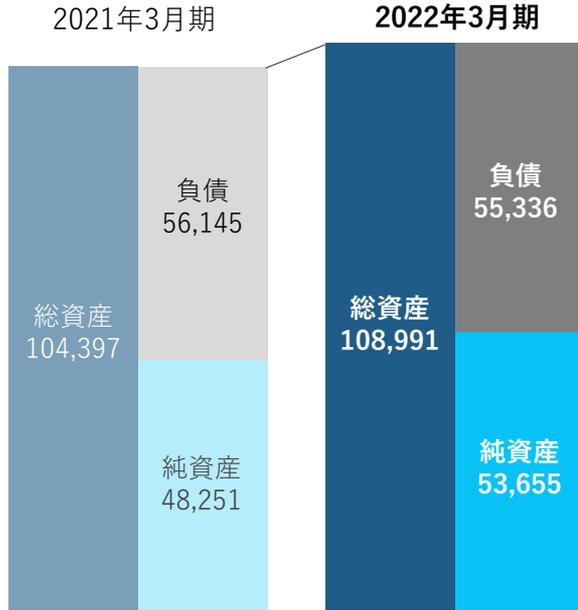


- 一部賃貸スペースの解約により不動産賃貸収入が減少
- 空調使用料等の不動産付帯収入が減少
- 賃貸ビルの補修工事費等が減少

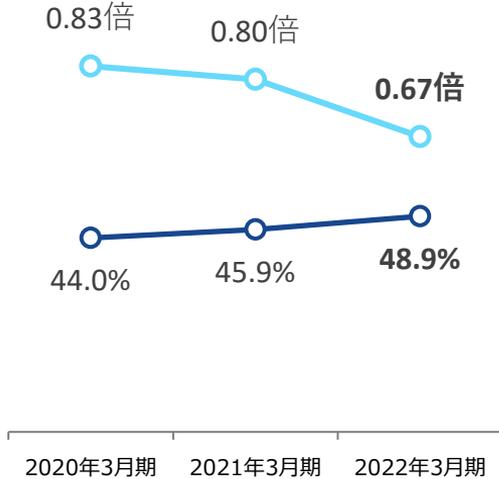
単位：百万円	営業収益（連結）				営業利益（連結）			
	2021年 3月期	2022年 3月期	前期比		2021年 3月期	2022年 3月期	前期比	
			金額	比率			金額	比率
不動産事業	5,991	5,838	▲152	▲2.5%	2,981	3,026	45	+1.5%

貸借対照表とキャッシュ・フローの状況（連結）

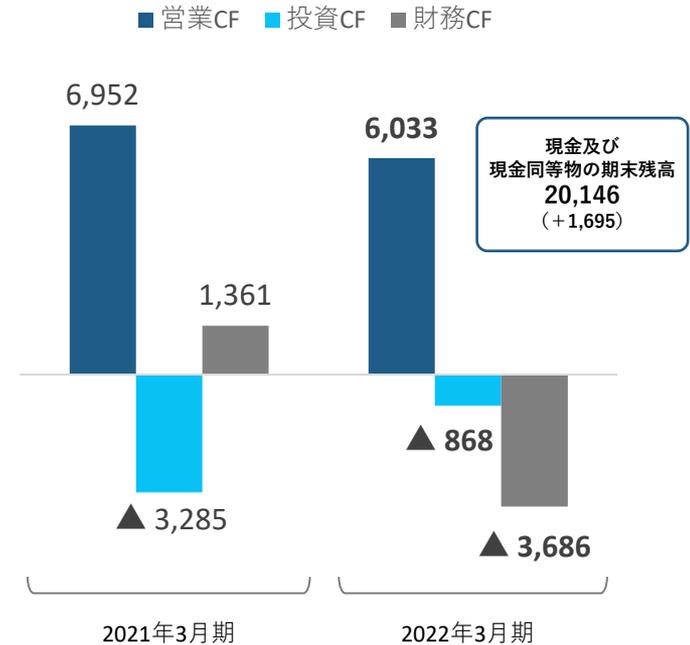
連結貸借対照表 (百万円)



自己資本比率 D/Eレシオ



連結キャッシュ・フロー (百万円)





2

2023年3月期業績予想



連結業績予想

- 航空便の緊急対応の減少や海上・航空運賃単価の正常化に伴う収入の減少
- 当期に開始した新規業務が通期寄与、松戸市や横浜市の拠点増床により倉庫業務や陸上運送業務が拡大、横浜市のR&D施設の一部に新規テナントを誘致
- 不動産事業は、オフィスビルを中心に稼働は安定的に推移
- 営業外収益（持分法による投資利益）が減少

単位：百万円	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	当期比	
			金額	比率
営業収益	71,746	71,800	53	+0.1%
営業利益	4,516	4,600	84	+1.9%
営業利益率	6.3%	6.4%	—	+0.1P
経常利益	6,924	5,100	▲1,824	▲26.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,257	3,200	▲2,057	▲39.1%

セグメント別業績予想

物流 事業

営業収益は前期比1千3百万円(0.0%)増の660億7千万円

営業利益は前期比7千9百万円(2.4%)増の34億1千万円

不動産 事業

営業収益は前期比5千1百万円(0.9%)増の58億9千万円

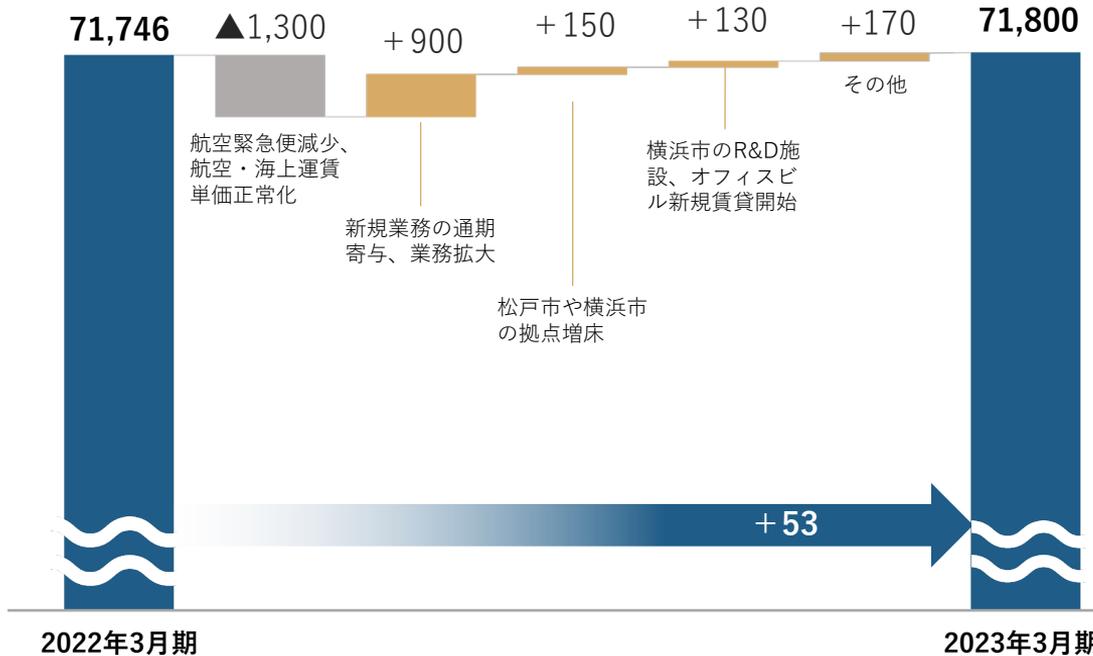
営業利益は前期比5千3百万円(1.8%)増の30億8千万円

単位：百万円	営業収益（連結）				営業利益（連結）			
	2022年 3月期	2023年 3月期	当期比		2022年 3月期	2023年 3月期	当期比	
			金額	比率			金額	比率
物流事業	66,056	66,070	13	+0.0%	3,330	3,410	79	+2.4%
不動産事業	5,838	5,890	51	+0.9%	3,026	3,080	53	+1.8%
調整額	▲148	▲160	▲11	—	▲1,841	▲1,890	▲48	—
合計	71,746	71,800	53	+0.1%	4,516	4,600	84	+1.9%

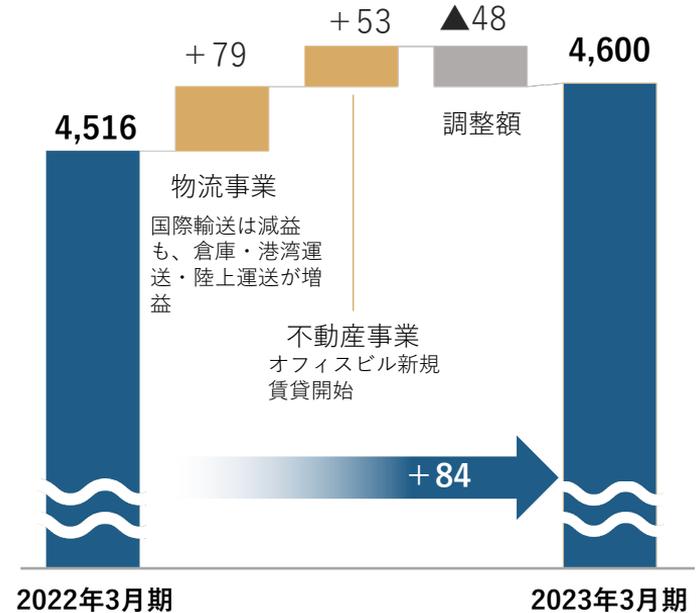
セグメント別業績 増減予想

(単位：百万円)

営業収益増減



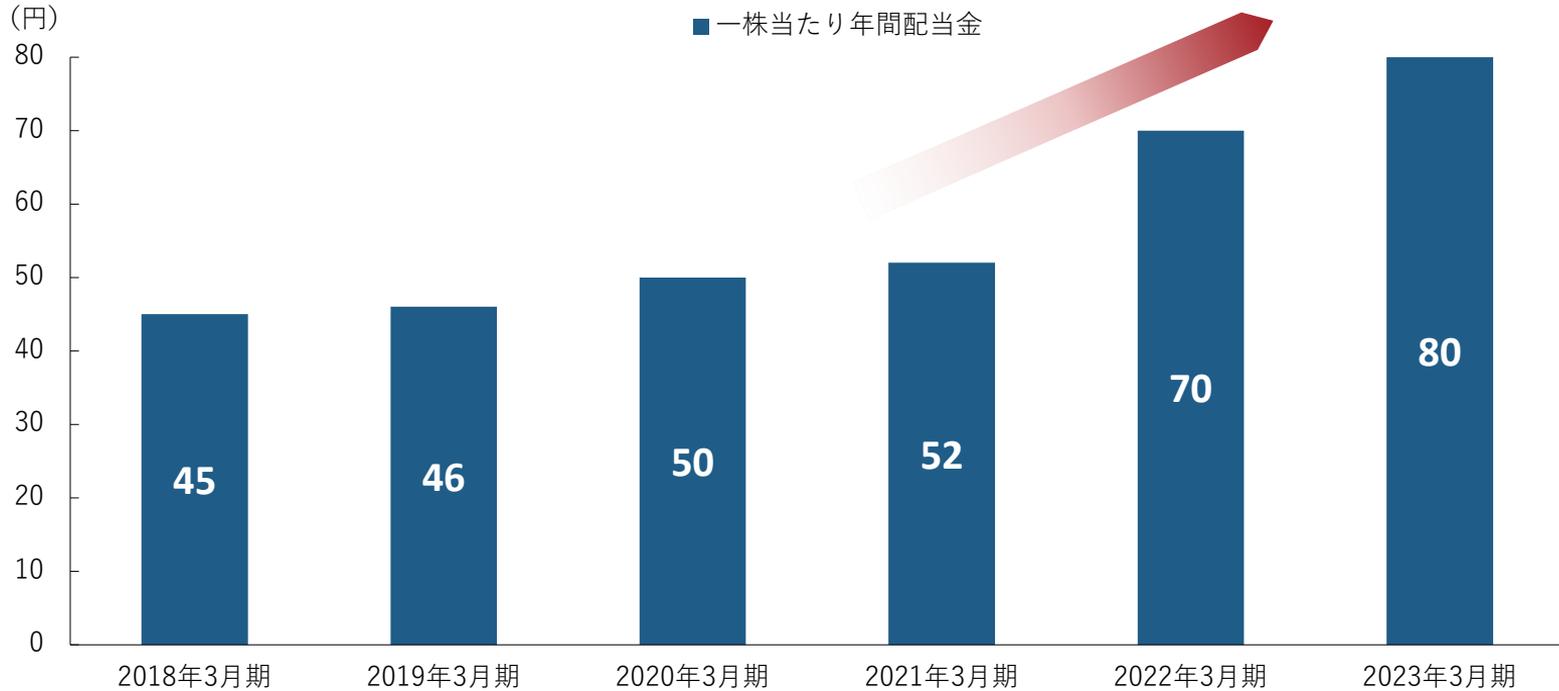
営業利益増減



株主還元

2022年3月期は前期に比較して1株あたり年間18円の増配

2023年3月期はさらに1株あたり年間10円の増配を予定



※ 当社は、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株に併合しております。
グラフおよび表においては、2017年度以前の配当金についても当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

3

中期経営計画の進捗



ビジョンと中期経営計画

Step Up 2019

単位：億円	2017年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2017年3月期比
営業収益	580	668	+15%
営業利益	34.0	39.0	+15%
経常利益	34.1	41.7	+22%

中期経営計画2023

2022年3月期 (実績)	2020年3月期比
717	+7%
45.1	+15%
※49.7	+19%

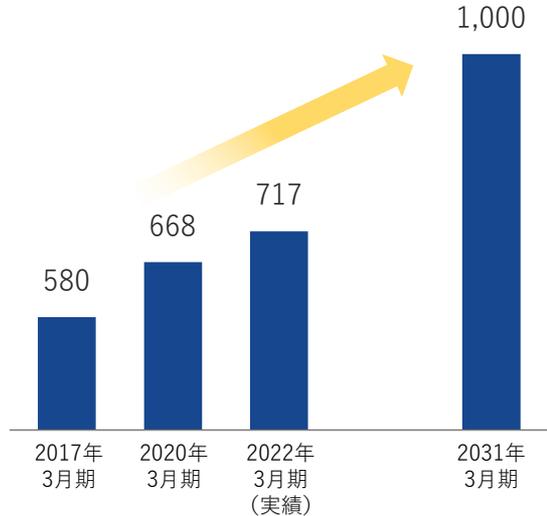
※特殊要因を除く

2024年3月期 最終目標値	2022年3月期進 捗率
730	98%
45.0	100%
47.0	105%

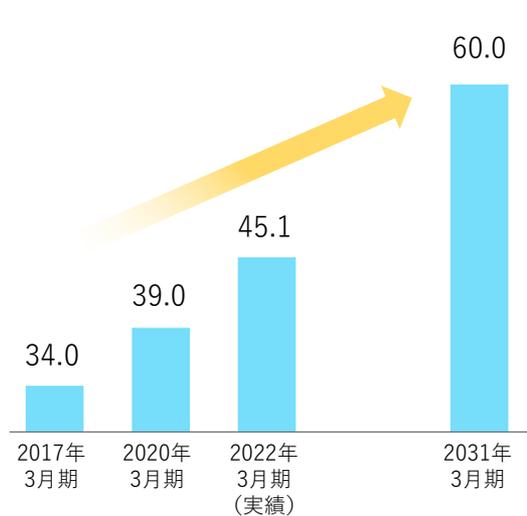
2030 ビジョン

2031年3月期
1,000
60
62

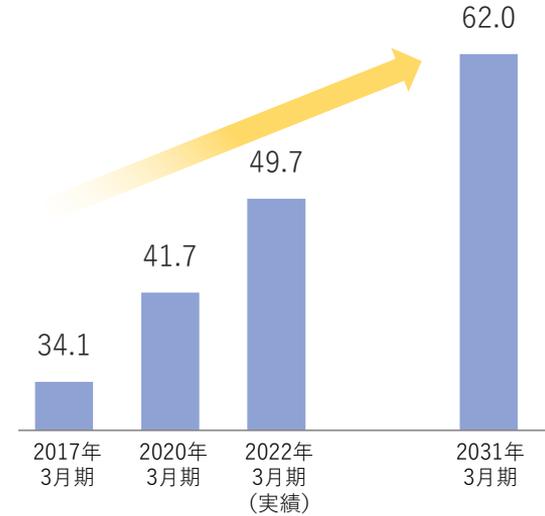
営業収益 (億円)



営業利益 (億円)

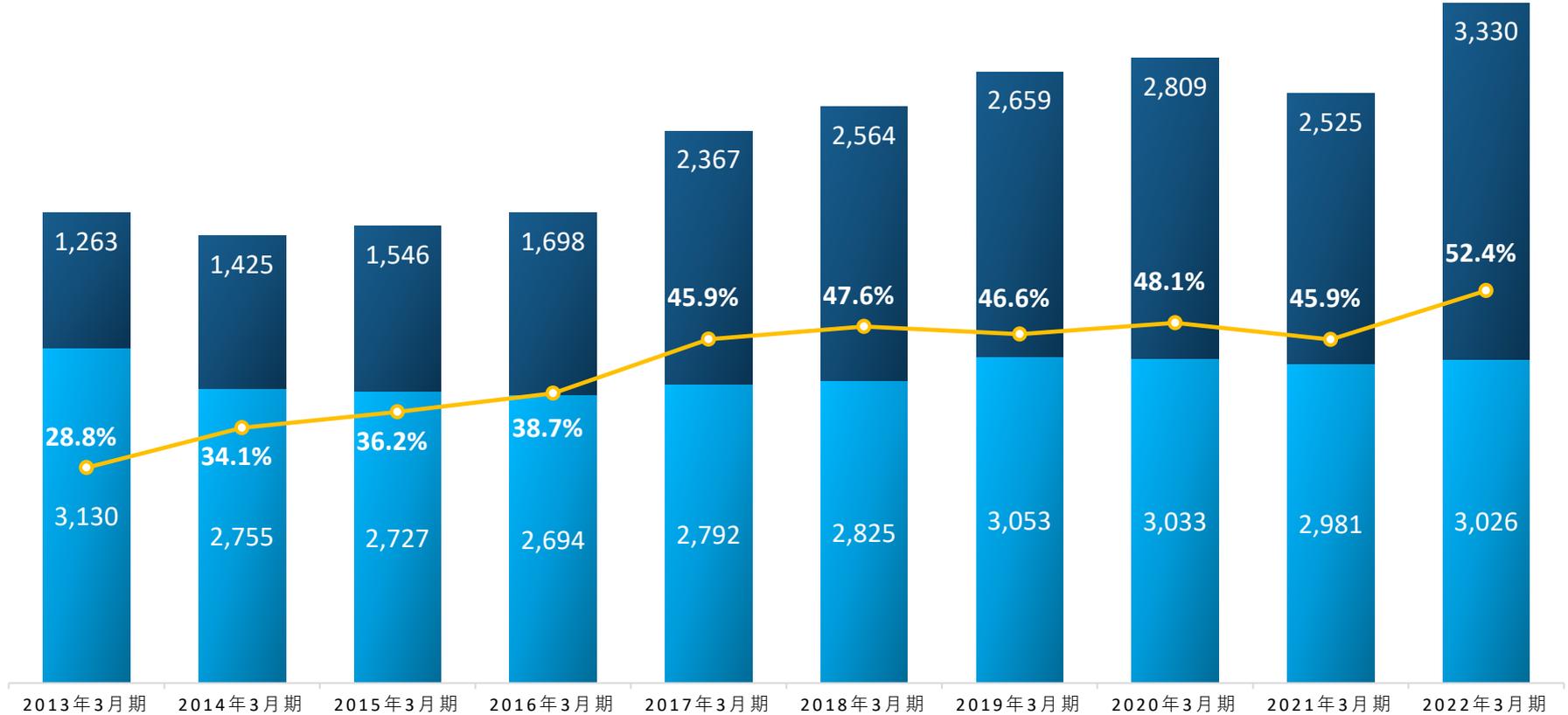


経常利益 (億円)



セグメント別営業利益の推移

■ 物流事業
 ■ 不動産事業
 ○ 営業利益全体に占める物流事業の比率
 (百万円)



※上記数値は各報告セグメントに配分していない全社費用の減額調整を行う前の数値

中計期間におけるキャッシュ・フロー

2022年3月期～2024年3月期の累計

キャッシュ・イン



キャッシュ・アウト



国内物流ネットワークの拡充

- ・多品種少量貨物専用拠点の増床
- ・輸入雑貨・食品の取扱い拠点の増床
- ・飲料拠点の更なる拡大
(千葉地区におけるドミナント効果の発揮)

DX推進・機械化・自動化

- ・多品種少量貨物取扱いのオペレーション能力向上
- ・日用品・パレット貨物取扱いの効率化推進
- ・飲料DCへの自動化設備導入

海外事業への投資

サステナビリティ推進の取組み

※中計の当初数値目標を前提にした金額

国内物流ネットワークの拡充

強みの更なる強化・競争力強化につながる拠点の拡充

多品種少量貨物専用拠点の増床

松戸営業所の庫復拡大

既存の拠点規模：約5,200坪
2022年10月より約1,200坪増床



輸入雑貨・食品の取扱い拠点の増床

横浜港における庫復拡大

既存の拠点規模：約17,300坪
2022年2月より約3,000坪増床
2022年7月より約2,600坪増床



飲料拠点の更なる拡大 千葉地区におけるドミナント 効果の発揮

飲料拠点の新規稼働予定

既存の拠点規模：約30,000坪
新設予定規模：約7,000坪
(2024年稼働予定)



DX推進・機械化・自動化

DX・機械化等による業務の効率化

横展開

多品種少量貨物取扱いの
オペレーション能力向上

小口貨物の自動搬送機



自社小型車両
による配送

日用品・パレット貨物取扱いの
効率化推進

AGV導入による
作業効率向上



移動ラック導入
による
保管効率向上

新規導入

飲料DCへの自動化設備導入
(2024年稼働予定)

自動ラックシステムの導入



無人
フォークリフト
の導入

海外事業の拡大



中国

国内物流機能の強化

- 華東・華南地区の庫腹と
自社車両拡充
- 消費財物流への参入



香港

域内物流の拡大

- 冷凍冷蔵貨物輸配送業務への
参入
- 域内物流の強化



ベトナム

3PLサービス拡大

- Vinafco社のネットワーク活用
- 輸出入フォワーディングの強化
- 現地法人とVinafco社の
コラボレーションによる機能補完



フィリピン

現地法人の稼働

(2022年6月より)

- 輸出入フォワーディングの
拡大
- 日用品・文書保管等現地国
内物流への参入



サステナビリティ推進の取組み (KGIとKPI)

重要課題 (マテリアリティ)	目指す姿 (KGI)	評価項目	KPI	2022年度
地球温暖化の防止	環境負荷低減に貢献する企業 2030年度売上原単位CO2排出量 2019年度比▲30%	倉庫業務におけるCO2排出量削減	営業面積あたりCO2排出量 (※1)	前年比▲3%
		陸運業務におけるCO2排出量削減	最新 環境規制対応車両導入率	前年比+3%
		不動産事業における再生可能エネルギー導入	再生可能エネルギー導入率 (※2)	30%
循環経済への転換	循環経済転換に貢献する企業	循環経済転換に対する貢献	セキュリティボックス設置台数 (機密文書の回収・溶解・リサイクル)	前年比増加
安全安心の実現	安全な事業運営による 安心な社会の実現	社会に対する安全安心向上	営業収益あたりの物流事業における事故件数	前年比▲10%
		事業内における安全安心向上	労働災害度数率	前年比▲3%
イノベーションの活用	事業の競争力強化と 持続可能な社会の実現	技術導入による業務効率化	技術導入による業務効率化推進の新規案件数	10件
人権の尊重	多様な人材が集い活躍する 環境の創出	ダイバーシティの推進	管理職に占める女性の割合	前年比増加
			有給休暇取得率	前年比増加
		人財への積極投資	階層別研修のべ受講者数	前年比増加
			業務研修のべ受講者数	前年比増加
共存共栄の追求	パートナー企業や 地域社会との共存共栄	事業パートナー・地域コミュニティとの連携強化	パートナーミーティングの開催	3回
			社会活動への協働	5件

サステナビリティ推進の取組み

電力消費によるCO2排出削減

2021年度 グリーン電力導入
不動産物件 **3棟**

2022年度 非化石証書電力導入計画
物流拠点 **5拠点**
不動産物件 **1棟**

グリーン電力および非化石証書
電力導入によるCo2排出削減効果

2,800トン/年

飲料会社4社様のモーダルシフト
による共同配送の実施

CO2削減効果

2017年度 47トン

2020年度 **1,352トン**



ダイバーシティの推進

(管理職に占める女性の割合)

2017年4月1日現在 7.34%

2022年4月1日現在 **11.06%**

働き方改革への取組み (有給休暇取得率)

2016年度 37.9% 2021年度 **52.2%**

社会活動への協働

(創業者 渋沢栄一に関する講演活動)

2021年度 **5回**

コーポレート・ガバナンス・コードに
則った継続的なガバナンス体制の向上

情報開示の充実

取締役会の下にサステナビリティ推進委員会
を設置・サステナビリティ推進室を新設

サステナビリティ推進の取組み

他社とのコラボレーションによるサステナビリティ推進

株式会社データキーピングサービスとの協働

- 紙のリサイクル
- 文書の電子保管
- 輸配送の効率化推進



飲料メーカーとの協働

- ペットボトルの回収・リサイクル

Next Logistics Japan株式会社との協働

輸送の効率化、共同配送によるドライバー不足の解決
CO2排出削減



荷役の自動化・機械化による
作業員不足の解決、労働環境の改善

FCV・EV・CASEなどイノベーション活用の社会実験への参画

今後取組を
強化

今後スキーム
を確立

サーキュラーエコノミー

- リチウムイオン電池回収・再利用
- ゼロエミッション倉庫

APPENDIX



会社概要

会社名	澁澤倉庫株式会社 (The Shibusawa Warehouse Co.,Ltd.)
本社所在地	東京都江東区永代二丁目37番28号
創業	1897年(明治30年)3月30日
資本金	7,847百万円 (2022年3月末現在)
従業員数	1,196名 (グループ就業人員数/2022年3月末現在)
営業種目	倉庫業、陸上運送業、海上運送業、港湾運送業、陸上・海上・航空運送の取扱業、陸海空複合貨物運送業及びその取扱業、通関業、医薬品・医薬部外品・化粧品及び医療機器の包装・表示及び保管業、ECフルフィルメント業、不動産の売買・仲介・管理及び賃貸業、情報システムの企画・開発・販売及び運営管理業、労働者派遣業、介護保険適用外の生活支援業ほか
代表者	大隅 毅 (代表取締役社長)
決算期	3月31日
上場証券取引所	東証プライム (証券コード：9304)

永続する 使命。

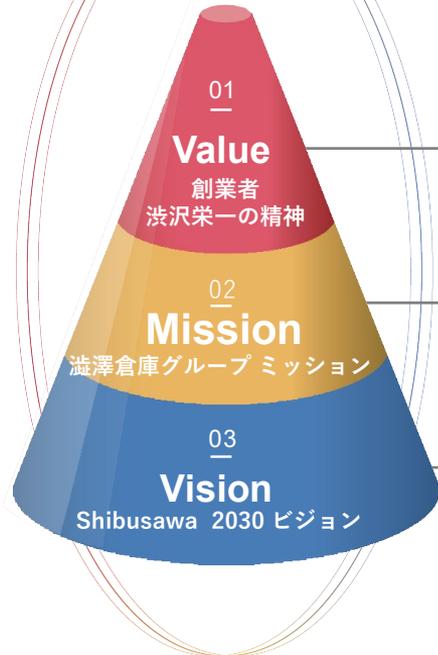
創業者 渋沢栄一 の精神を受け継ぐ、
私たちは、
正しい道理で追求した
利益だけが永続し、
社会を豊かにできると考えます。
物流を越えた、新たな価値創造により、
持続可能で豊かな社会の
実現を支えるために。

- ・ Challenge 挑戦
- ・ Create 創造
- ・ Cooperate 共創で、
進化を続けるバリューパートナー、
それが私たち 渋澤倉庫です。



コーポレートスローガン

コーポレートスローガン
「永続する使命。」



01

共有する
価値観

正しい道理で追求した利益だけが
永続し、社会を豊かにできる

Sustainability = 持続的成長

02

果すべき
社会的使命

物流を越えた、新たな価値創造により、
持続可能で豊かな社会の
実現を支えること

「ミッション実現のためのグループ行動指針」
Challenge・Create・Cooperate
挑戦・創造・共創

03

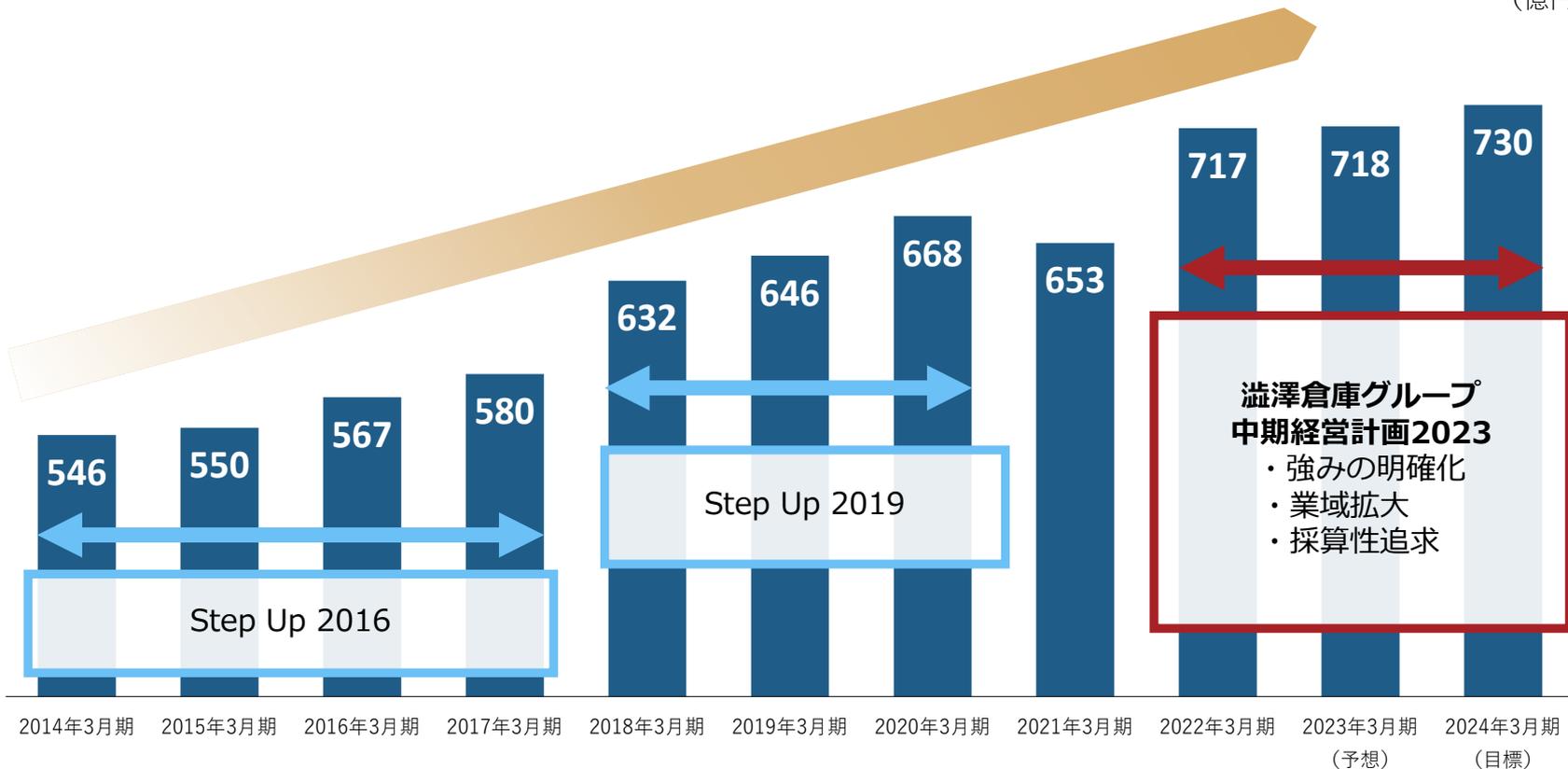
目標とする
明日の姿

お客様の事業活動に
新たな価値を生み出すValue Partner

Value Partner
効率追求から価値創造へ

売上高の推移

(億円)



**澁澤倉庫グループ
中期経営計画2023**

- ・強みの明確化
- ・業域拡大
- ・採算性追求

※ 「Step Up」 = 中期経営計画

事業セグメント：物流事業



陸上運送・引越・倉庫業務

澁澤陸運(株)
大宮通運(株)
日正運輸(株)
北海澁澤物流(株)
(株)データ・キーピング・サービス
(株)DKSロジスティクス
ダイドー・シブサワ・グループロジスティクス(株)

陸上運送・引越・荷役業務

九州澁澤物流(株)

荷役・港湾運送業務

明石デリバリー(株)
門司港運(株)

荷役業務

(株)オーミパッケージ

荷役・流通加工業務

中部システム物流(株)
システム物流(株)

その他物流業務

(株)関西塩酸センター

倉庫・輸出入フォワーディング・通関業務

澁澤(香港)有限公司
澁澤物流(上海)有限公司

輸出入フォワーディング・通関業務

Shibusawa Logistics Vietnam Co., Ltd.

倉庫・輸出入フォワーディング・通関業務

TDG-Shibusawa Logistics, Inc.
(フィリピン)

倉庫・陸上輸送・内船舶業務

Vinafco Joint Stock Corporation
(ベトナム)

取扱品目

日用品、食品・飲料、
化粧品、アパレル、
非鉄金属、自動車部品、
化学品、家電

事業セグメント：物流事業

倉庫業務



国内全域をカバーする自社拠点ネットワーク 当社開発のWMS他各種システムと連携した貨物の入出庫保管・流通加工等のサービス

港湾運送業務



国内主要港における船内荷役、沿岸荷役、上屋保管、輸出入荷捌業務の一貫サービス

陸上輸送業務



全国を網羅する輸送ネットワークによる貨物自動車運送、フェリー輸送、引越等のサービス

事業セグメント：物流事業

国際輸送業務



海外ネットワークによる国際一貫輸送、航空貨物輸送、
現地での輸配送、倉庫他実物流サービス

その他の物流業務



鉄道輸送、
情報システム開発等の
サービス

事業セグメント：不動産事業



澁澤シティプレイス永代、澁澤シティプレイスA棟・B棟、澁澤シティプレイス蛸殻町をはじめとする
オフィスビル等の賃貸や不動産管理サービス

グループ拠点

国内倉庫拠点

グループ拠点数 約65拠点

総延床面積 約200千坪



海外のグループ会社 駐在員事務所

香港

澁澤(香港)有限公司
Shibusawa(HongKong)Ltd.

上海

澁澤物流(上海)有限公司
Shibusawa Logistics(Shanghai)Ltd.

広州

広州分公司
Guangzhou Branch

武漢

武漢分公司
Wuhan Branch

ベトナム

Shibusawa Logistics Vietnam Co., Ltd.

ハノイ

Hanoi Branch

マニラ

TDG-Shibusawa Logistics, Inc.

ディスクレーマー

当社は、今後とも投資家様との対話を深め、
企業価値の向上につとめてまいりますので、
よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいてお
り、実際の業績等は経済情勢、経営環境の変化等により異なる可能性があります。